

# 2020年度（2021年3月期） 決算説明会



2021年5月27日

# 目次

---

<b>Part I . 決算実績・業績予想</b>	<b>P. 2</b>
<b>Part II . 中期経営計画の進捗状況</b>	<b>P. 13</b>
<b>Appendix . 参考情報</b>	<b>P. 23</b>



## Part I . 決算実績・業績予想

## 1. 2020年度 決算実績

### ① 連結損益計算書 (P/L)

- 新型コロナウイルスの影響による社会経済活動の停滞を受け、全セグメントで大幅な需要減少
- 経費削減や原材料価格の下落により各段階利益は想定を上回るも、前期比では売上減により大幅に減益

(単位：百万円、%)	2019年度	2020年度		
	通期実績	通期実績	増減額	増減率
売上高	72,709	<b>62,475</b>	△ 10,234	△ 14.1%
売上総利益	21,800	<b>18,480</b>	△ 3,319	△ 15.2%
販売費及び一般管理費	16,252	<b>15,651</b>	△ 600	△ 3.7%
営業利益	5,547	<b>2,828</b>	△ 2,718	△ 49.0%
経常利益	5,786	<b>3,268</b>	△ 2,517	△ 43.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,662	<b>1,968</b>	△ 1,693	△ 46.2%
国産ナフサ (円/KL)	42,925	<b>31,325</b>	△ 11,600	△ 27.0%

# 1. 2020年度 決算実績

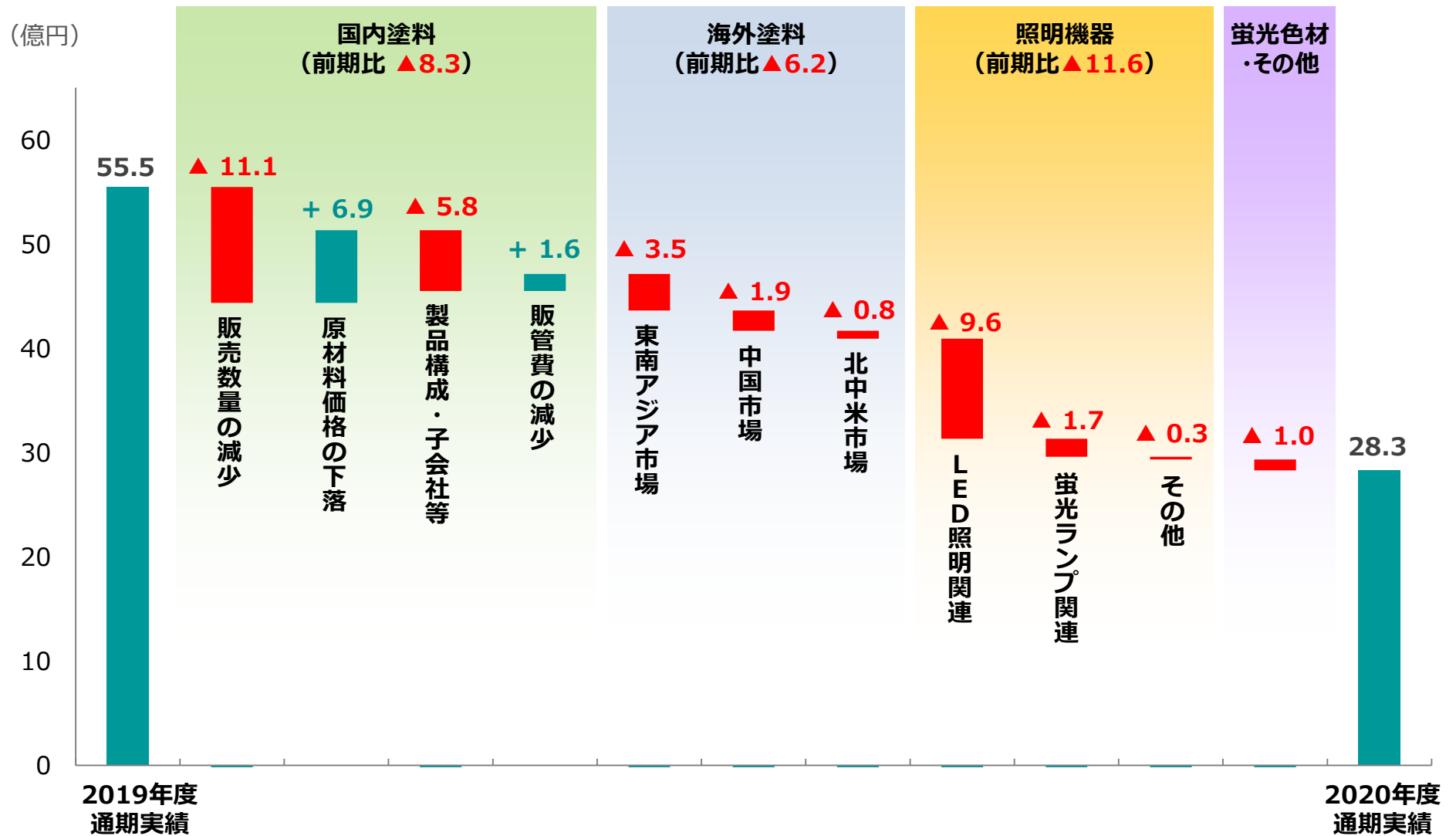
## ②セグメント別売上高・営業利益

- 国内塗料は構造物分野が堅調も、工業用分野で大幅に需要が減少。下期以降は緩やかな回復基調
- 海外塗料は世界的な自動車減産の影響、照明機器は商業・宿泊施設の投資抑制の影響を受け、減益

(単位：百万円、%)	2019年度	2020年度		
	通期実績	通期実績	増減額	増減率
売上高	72,709	<b>62,475</b>	△ 10,234	△ 14.1%
国内塗料	51,861	<b>46,552</b>	△ 5,309	△ 10.2%
海外塗料	7,290	<b>5,486</b>	△ 1,804	△ 24.8%
照明機器	10,135	<b>7,239</b>	△ 2,895	△ 28.6%
蛍光色材	1,337	<b>1,113</b>	△ 223	△ 16.8%
その他	2,084	<b>2,084</b>	△ 0	△ 0.0%
営業利益	5,547	<b>2,828</b>	△ 2,718	△ 49.0%
国内塗料	2,464	<b>1,631</b>	△ 833	△ 33.8%
海外塗料	843	<b>221</b>	△ 621	△ 73.8%
照明機器	1,639	<b>479</b>	△ 1,159	△ 70.7%
蛍光色材	116	<b>54</b>	△ 61	△ 52.7%
その他	217	<b>257</b>	+ 39	+ 18.2%
調整	266	<b>183</b>	△ 83	△ 31.2%

# 1. 2020年度 決算実績

## ③ 連結営業利益（実績）の増減要因



# 1. 2020年度 決算実績

## ④ 連結貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円、%)	2019年度末	2020年度末	増減額
流動資産	33,317	<b>33,073</b>	△ 244
現金及び預金	5,317	<b>6,983</b>	+ 1,665
受取手形及び売掛金	17,172	<b>15,642</b>	△ 1,530
たな卸資産	9,439	<b>8,930</b>	△ 508
その他流動資産	1,387	<b>1,517</b>	+ 129
固定資産	43,499	<b>52,691</b>	+ 9,192
有形固定資産	25,437	<b>25,877</b>	+ 440
無形固定資産	542	<b>424</b>	△ 117
投資その他の資産	17,520	<b>26,389</b>	+ 8,869
資産合計	76,817	<b>85,765</b>	+ 8,947
負債合計	32,138	<b>34,900</b>	+ 2,762
(借入金残高)	(4,160)	<b>(5,900)</b>	+ 1,739
純資産合計	44,679	<b>50,865</b>	+ 6,185
負債純資産合計	76,817	<b>85,765</b>	+ 8,947

# 1. 2020年度 決算実績

## ⑤ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2019年度	2020年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,434	<b>3,641</b>	△ 793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,424	△ <b>2,325</b>	+ 2,099
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 742	<b>499</b>	+ 1,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	92	△ <b>142</b>	△ 234
現金及び現金同等物の増減額	△ 640	<b>1,672</b>	+ 2,313
現金及び現金同等物の期首残高	5,704	<b>5,064</b>	△ 640
現金及び現金同等物の期末残高	5,064	<b>6,736</b>	+ 1,672



## 2. 事業環境認識

国内塗料	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 全体としては<b>緩やかな市況回復が継続</b>も、今年度は2019年度水準までは戻らない見通し</li><li>■ 2020年度に堅調に推移した構造物分野は、同水準の需要見込み</li><li>■ 2020年度に需要の落ち込みが激しかった工業用分野では、<b>需要回復</b>を見込む</li><li>■ <b>原材料価格の高騰</b>による利益圧迫リスクが顕在化、分野別の対策を実行中</li></ul>
海外塗料	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 全体としては<b>市場は回復傾向にあるが</b>、今年度は2019年度水準までは戻らない見通し</li><li>■ 東南アジア市場は、タイのGDP成長率は2%台の予測</li><li>■ 中国市場は厳しい環境規制に対応しつつ事業を推進中</li><li>■ 北中米市場は、米国バイデン政権におけるUSMCA（新NAFTA）の動向を注視</li></ul>
照明機器	<ul style="list-style-type: none"><li>■ LED照明市場は緩やかな回復を見込むものの、ホテル向けは厳しい状況が継続と予測</li><li>■ 2020年度後半に上市した<b>紫外線除菌新製品の拡販に注力</b></li><li>■ 蛍光ランプ市場は緩やかな減少が継続</li></ul>
共通	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 新型コロナウイルスの世界的な感染動向により、先行きの不透明感は根強く残る</li></ul>

### 3. 2021年度 業績予想

#### ① 連結損益計算書 (P/L) (業績予想)

- 各セグメントで前年度の新型コロナウイルス影響による需要減からの売上、利益の回復を図る
- 足元では原材料価格が高騰しているが、売上増加、製品構成の改善、経費抑制により増益を計画

(単位：百万円)	2020年度	2021年度		
	通期実績※	通期予想	増減額	増減率
売上高	63,261	<b>67,500</b>	+ 4,238	+ 6.7%
売上総利益	19,266	<b>20,400</b>	+ 1,133	+ 5.9%
販売費及び一般管理費	16,437	<b>16,400</b>	△ 37	△ 0.2%
営業利益	2,828	<b>4,000</b>	+ 1,171	+ 41.4%
経常利益	3,268	<b>4,100</b>	+ 831	+ 25.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,968	<b>2,500</b>	+ 531	+ 27.0%
国産ナフサ (円/KL)	31,325	<b>47,000</b>	+ 15,675	+ 50.0%

※ 2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用することに伴い、比較として上表では2020年度実績に対しても同会計基準を適用した場合の数値を記載している。P10,P14の2020年度実績も同様。

### 3. 2021年度 業績予想

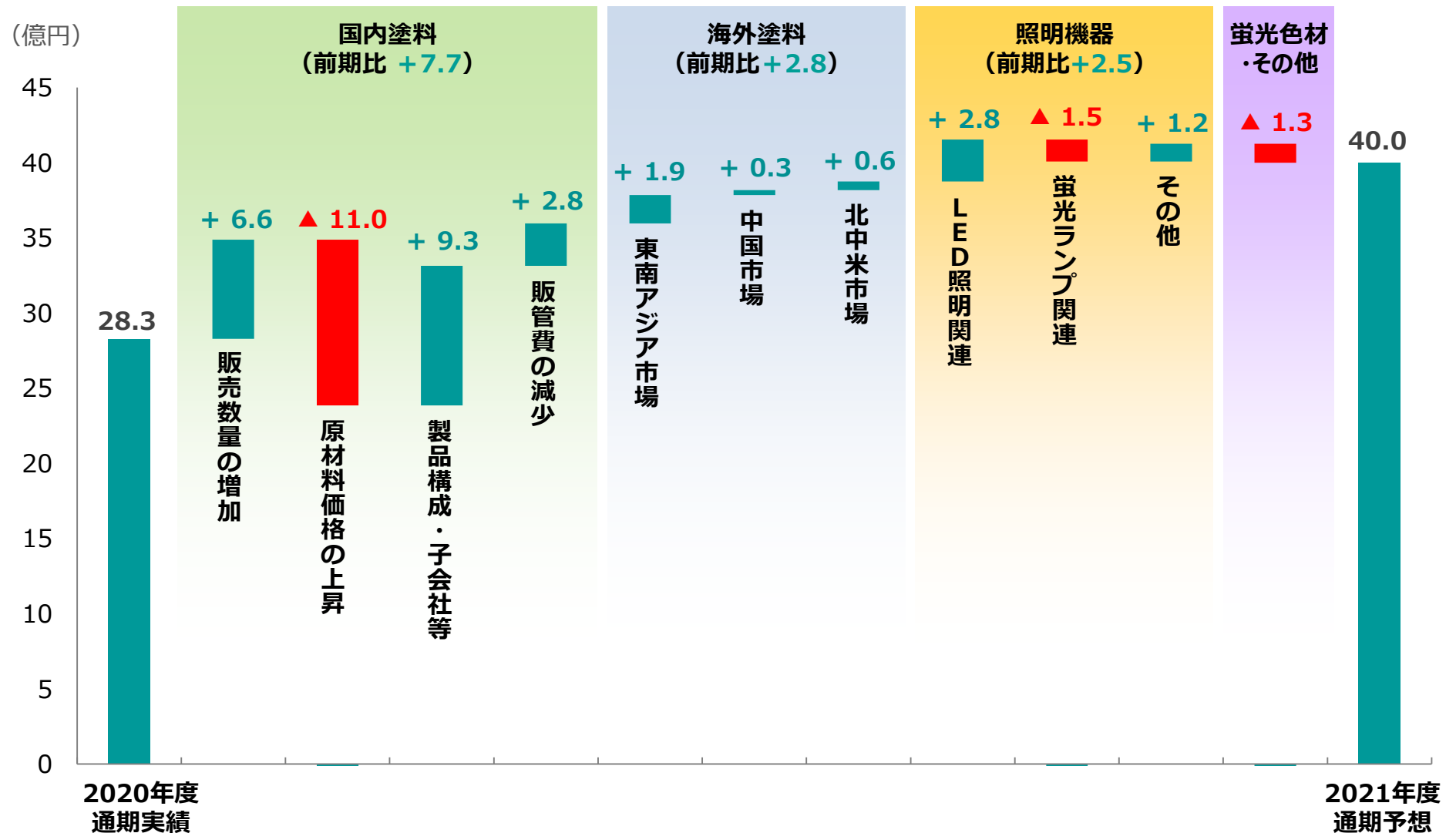
## ②セグメント別売上高・営業利益（業績予想）

- 国内塗料は工業用分野を中心に需要回復を見込み、販売増により子会社含め収益改善を計画
- 海外塗料は自動車生産の回復および新規開拓により、照明機器は新製品の拡販により、増益を計画

(単位：百万円)	2020年度	2021年度		
	通期実績※	通期予想	増減額	増減率
<b>売上高</b>	63,261	<b>67,500</b>	+ 4,238	+ 6.7%
国内塗料	47,332	<b>49,900</b>	+ 2,567	+ 5.4%
海外塗料	5,486	<b>6,500</b>	+ 1,013	+ 18.5%
照明機器	7,239	<b>8,050</b>	+ 810	+ 11.2%
蛍光色材	1,119	<b>1,160</b>	+ 40	+ 3.6%
その他	2,084	<b>1,890</b>	△ 194	△ 9.3%
<b>営業利益</b>	2,828	<b>4,000</b>	+ 1,171	+ 41.4%
国内塗料	1,631	<b>2,400</b>	+ 768	+ 47.1%
海外塗料	221	<b>500</b>	+ 278	+ 126.2%
照明機器	479	<b>730</b>	+ 250	+ 52.1%
蛍光色材	54	<b>60</b>	+ 5	+ 9.3%
その他	257	<b>110</b>	△ 147	△ 57.3%
調整	183	<b>200</b>	+ 16	+ 9.0%

### 3. 2021年度 業績予想

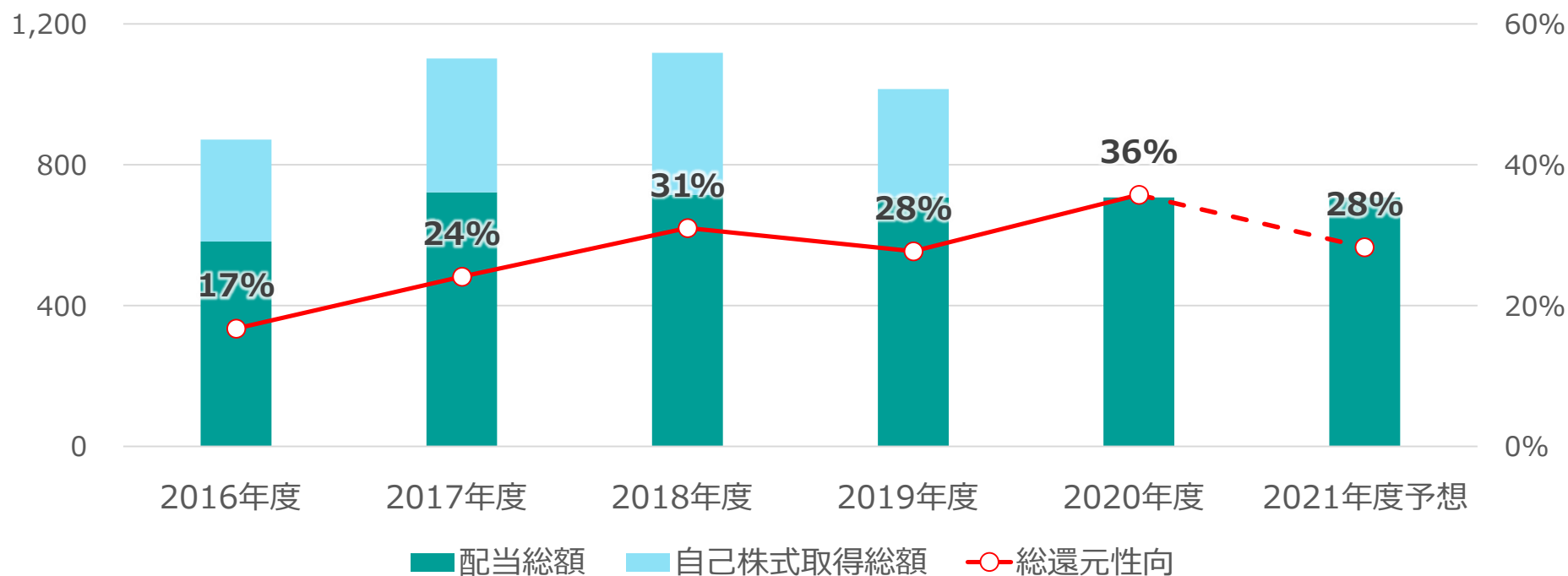
## ③ 連結営業利益（業績予想）の増減要因



## 4. 株主還元

- 2020年度は減益決算となったが、25円配当を維持
- 2021年度も一株あたり25円配当を予定

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (予定)
一株当たり配当金	20円	25円	25円	25円	25円	<b>25円</b>





## Part II. 中期経営計画の進捗状況

# 1. 中期経営計画の概要

## コンセプト

2029年度の創立100周年における「持続的成長力を持つ企業」の達成に向け、今中計期間において成長軌道を確立

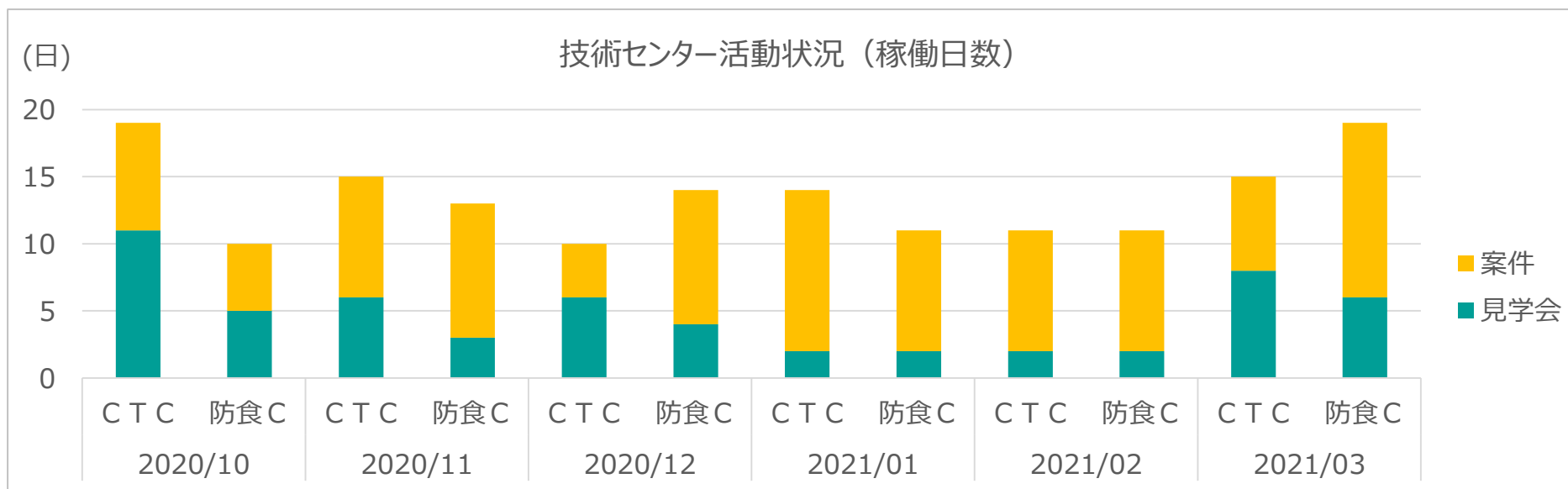
基本施策	2020年度	2021年度	2023年度	
	通期実績※	通期予想	通期目標	
1.提供価値の強化	売上高	63,261	67,500	75,000
	国内塗料	47,332	49,900	54,000
	海外塗料	5,486	6,500	8,200
2.価格競争力の強化	照明機器	7,239	8,050	9,400
	蛍光色材	1,119	1,160	1,300
	その他	2,084	1,890	2,100
3.販売体制の強化	営業利益	2,828	4,000	6,600
	国内塗料	1,631	2,400	3,600
	海外塗料	221	500	1,100
4.労働生産性の向上	照明機器	479	730	1,300
	蛍光色材	54	60	120
	その他	257	110	220
5.海外事業の強化	調整	183	200	260

## 2. 主要施策の進捗状況

### 提供価値の強化（技術センターの活用）

- 2020年6月にコーティング技術センターを、7月に防食技術センターを開所
- 初年度はセンターの周知・集客に注力しつつ、収益に結び付く案件活動も並行して実施

	主な案件活動	2023年度目標
コーティング技術センター（CTC）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ インモールドコーティング（IMC）の実用化検討</li> <li>■ 金属調仕様やインクジェット仕様の確立検討</li> </ul>	センター活用による 総利益 <b>3億円</b>
防食技術センター（防食C）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実工事に向けた水性重防食塗料の施工性、作業性評価</li> <li>■ 省工程塗替え仕様の塗料開発</li> </ul>	センター活用による 総利益 <b>2億円</b>







## 2. 主要施策の進捗状況

### 価格競争力の強化


- 原材料統合による大幅な原材料コスト低減に着手し、売上原価の大部分を占める変動費率の低下を図る
- グループ全体の生産体制を最適化し、固定費の圧縮を図る

	取り組み状況	2023年度目標
<b>原材料コスト低減</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 原材料コスト削減に向け、配合見直しをはじめとして10テーマに分けて検討を実施</li><li>■ 2020年度は配合見直し、購買施策の効果が顕在化</li><li>■ 2021年度は取り組みの本格化により成果の拡大を図るが、目下、一部原料において調達難や価格の急騰が発生しており、優先的に対処中</li></ul>	2019年度比 材料費率 <b>1%超</b> の削減
<b>製造コストの圧縮</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2020年度にグループ内の塗料製造拠点を一部集約</li><li>■ 国内塗料事業においてグループ全体の最適な生産体制に向けた検討を継続</li><li>■ 早期の効果発現に向け、2021年度から取り組みを本格化</li></ul>	2019年度比 <b>3億円</b> の削減

## 2. 主要施策の進捗状況

### 販売体制の強化

- 国内におけるトップライン拡大に向け、営業情報のグループでの組織共有に向けた仕組みづくりを推進するとともに、販売ネットワークの拡充により、販売力の底上げを図る

	取り組み状況
営業情報の グループ組織共有	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ユーザー・販売店における塗料メーカーに対する改善要望の収集（品質・施工性・メーカーサポート体制・物流等）</li><li>■ 営業支援システム導入による顧客・物件情報の円滑な共有</li><li>■ DXを活用した受発注・生産システム導入の検討</li></ul>
販売店ネットワーク 拡充強化	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 2020年10～12月に国内販売代理店30社超へヒアリングを実施 ⇒ その後、2021年1月の2度目の緊急事態宣言の発出により代理店への訪問活動を延期</li><li>■ 今後、移動制限の緩和に応じて活動を再開し、DNT・販売代理店双方の課題を整理のうえ販売代理店に対するリレーション強化や販促方法の改善検討</li></ul> 

## 2. 主要施策の進捗状況

### 海外事業の強化

- 中国新工場はコロナ禍もあり工期が予定より延びたものの、2021年4月から販売を開始
- 東南アジア、北中米市場では自動車部品を軸に新規取引の獲得に注力

	取り組み状況	2023年度 目標
<b>中国市場</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 新工場（DNT浙江）の建設工事は完了</li><li>■ 2月より試生産を開始、粉体および水系塗料は4月より販売開始</li><li>■ 既存会社:DNT上海から新会社:DNT浙江への事業移管を今期中に完了し、2022年度に黒字化を図る</li></ul>	<b>営業利益 1.2億円</b> 2019年度 0.1億円
<b>東南アジア市場</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ タイDNTの技術部再編・機能強化の活用を通じた、自動車部品向け取引における既存顧客のシェア拡大と新規獲得活動を推進中</li></ul>	<b>営業利益 7.8億円</b> 2019年度 6.1億円
<b>北中米市場</b> 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 自動車部品向け新規顧客へのアプローチ</li><li>■ 競争力強化に向けた製造品質レベルの向上や生産効率の改善を検討</li></ul>	<b>営業利益 2.7億円</b> 2019年度 2.3億円

## 2. 主要施策の進捗状況

# 照明機器事業の強化

- 21年度からの業績回復に向け、「業容の拡大」とそれを支える「基本体質の強化」を両輪で進める

### 新たな市場の開拓を含めた取引先基盤の拡充

- ①市場開発プロジェクトを活用した**新市場の開拓と既存市場の拡充**  
(製品組み込み照明市場、ホテル業界、オフィス照明市場、野菜・きのこ市場、UV除菌装置等)
- ②マーケティング・コミュニケーションを起点とした**発信力の強化・顧客訴求力の向上**
- ③新製品を活用した既存先への**シェアアップ**

### 生産体制と製品開発体制のレベルアップ

- ①生産子会社における**プロセスイノベーションPJ (生産効率化)**の成果を発現
- ②海外を含めた**グループ生産体制の見直し**
- ③外部連携を含めた**製品開発体制の強化とスピードアップ**
- ④物流体制の見直しと在庫管理のレベルアップ
- ⑤需要動向を踏まえた**蛍光灯生産体制の見直し**

### 既存市場の拡充



オンラインセミナー

### 発信力の強化



展示会 CareTEX 出展

### 新製品の活用・展開



くりんクリンシリーズ

### プロセスイノベーション



IoTを活用したコンベア生産ライン

## 3. ESG経営の推進

- DNTグループを取り巻く外部環境の変化に対応し、社会課題目標達成への貢献を目指し、活動の意義と照らし合わせた取り組みを推進

### 環境（Environment）

#### 環境対応製品に対する取り組み

- **環境負荷低減製品の開発**
  - ー 水系塗料・粉体塗料における高機能塗料の開発
  - ー 環境対応製品比率の向上
- **顧客の環境対応ニーズに対応した製品開発**
  - ー コーティング技術センター、防食技術センターにおける顧客コミュニケーションを重視したニーズ開拓

#### 脱炭素化に対する取り組み

- **製造工程での取り組み**
  - ー 水銀灯・蛍光灯のLED化
  - ー 最新式ボイラーへの更新促進
  - ー LPG基地→都市ガスへの変更
  - ー 太陽光パネル設置による再エネ化検討
- **製品開発における取り組み**
  - ー CO<sub>2</sub>を固定化、削減可能な塗料開発の研究検討



### 社会（Social）

- **新型コロナ禍で社会へ貢献できる製品の開発**
  - ー 抗菌・抗ウイルス塗料のラインナップ拡充
  - ー 紫外線除菌装置「くりんクリン」
- **社会との関わり**
  - ー 国際化学オリンピック日本大会開催（2021）への寄付
- **従業員との関わり／人権の尊重**
  - ー 業務効率化による長時間労働の削減
  - ー 有給・育休の取得促進、ワークライフバランスの充実
  - ー 女性活躍支援、ダイバーシティの推進



### ガバナンス（Governance）

- **改訂コーポレートガバナンスコードに対する適切な対応**



## 4. トピックス

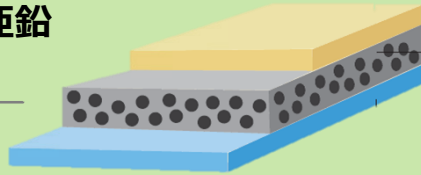
# 新たな重防食塗料マーケットの創出

- 独自性の高い製品を次々に上市し、新たな重防食塗料マーケットを創出
- 防食技術センターでは塗装の実装試験が可能であり、顧客満足度を高め販促をサポート

### メタモルシート#1

- 亜鉛含有の貼る防食シート
- 改修現場の作業負荷を大幅軽減

亜鉛



### タイエンダーシステム

- 塩害対策に特化
- -5℃での低温硬化性を持ち、海岸沿いのほか寒冷地での使用に強み



Before

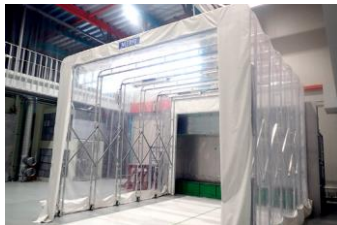
After

### ポールダンサーシステム

- 鉄柱など鋼管の基部向け防錆に特化した製品
- 施工日数短縮、手軽さが強み



## 防食技術センターでの実装実験による販促サポート



塗装ブース



大型環境試験機



促進防錆試験室

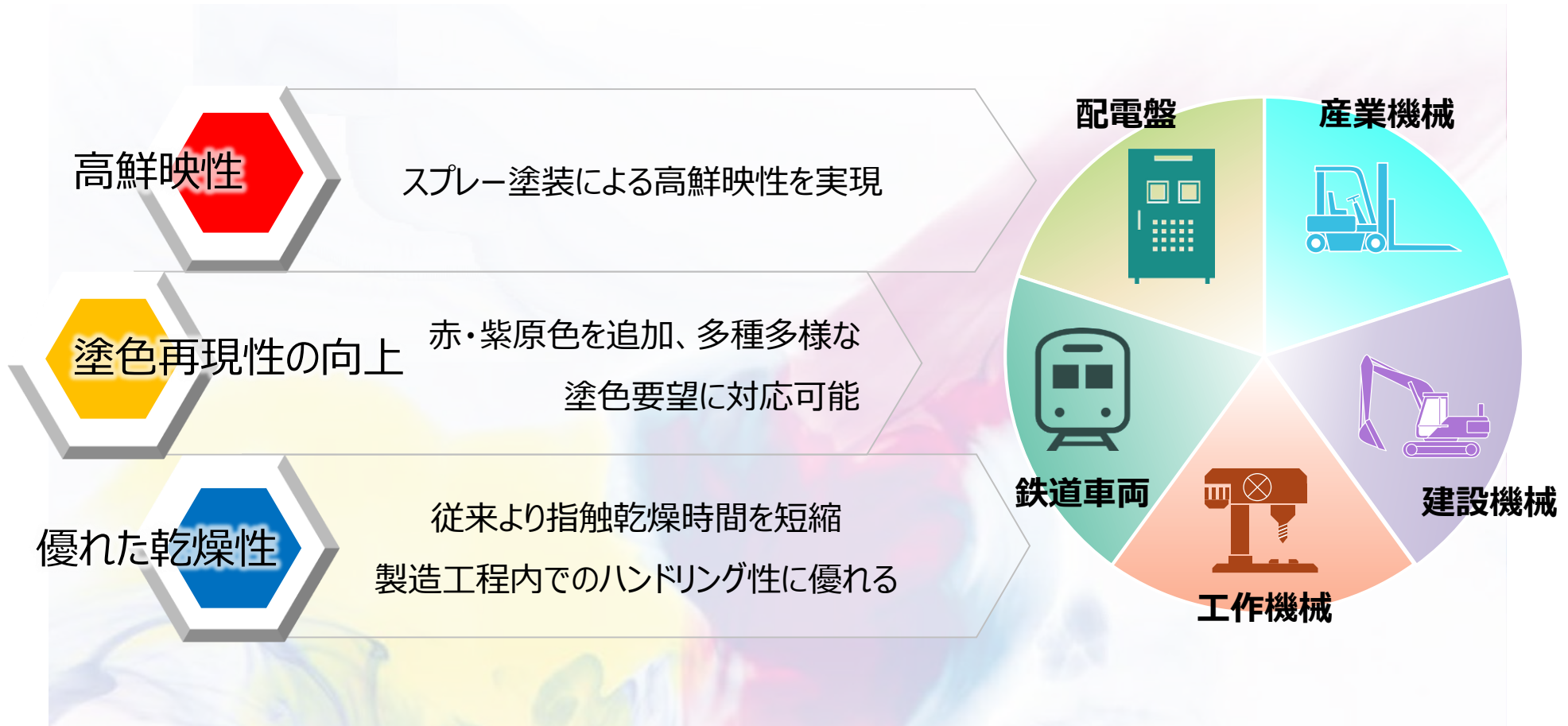


大型塗装室

## 4. トピックス

# 環境対応製品の拡充～工業用 1 液水性上塗塗料「AQウレタン」

- 環境規制に適応した高品質な工業用水性塗料が待ち望まれる中で「AQウレタン」を上市
- 作業性、乾燥性、色相再現性などの現場課題に対応、産業機器や建設機械、鉄道車両向けに展開





## Appendix. 参考情報



## 設備投資・減価償却費・研究開発費

- 2019年度は技術センター建設費、中国工場建設費により投資額が増加
- 2020年度は技術センターの立ち上げにより研究開発費が増加

(単位：百万円、%)	2019年度	2020年度		
	通期実績	通期実績	増減額	増減率
減価償却費	2,159	<b>2,426</b>	+ 266	+ 12.4%
設備投資額	4,417	<b>3,213</b>	△ 1,203	△ 27.2%
研究開発費	1,639	<b>1,947</b>	+ 308	+ 18.8%

## 照明機器事業 (DNライティング(株)・ニッポ電気(株))

- 照明器具デザインに発展性を求めながら市場ニーズに対応した製品ラインナップを拡充
- UVランプ製造の技術を活用し、ウイルスや菌を除去する新除菌装置「くりんクリン」の受注生産開始

### LED関連の競争力強化への取組み

- 高付加価値品と廉価汎用品の二極化傾向に対応できるバランスのとれた品揃えと生産体制の構築



間接照明  
トリムラインシリーズ

基板分割  
検査ロボット

多様化ニーズに応える  
カスタムメイド  
手作業組み立て

### 導入事例：店舗、学校案件



TOUCH TO GO JR高輪ゲート  
ウェイ駅店（無人のAI決済店舗）  
撮影：DESIGNESS 株式会社



埼玉県蕨市立塚越小学校

### 紫外線除菌装置「くりんクリン」

- 従来のUVランプ技術を活用した空気循環式紫外線除菌装置、表面除菌装置を新たに開発
- 天井取り付け、床置きと様々な室内空間に対応した製品タイプをラインナップ



くりんクリン Basic



くりんクリン Stand



くりんクリン Box

## 蛍光色材事業（シンロイヒ<sup>株</sup>）

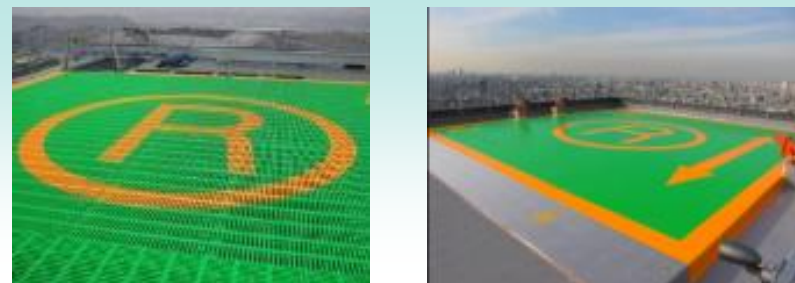
- 蛍光色材会社として、蛍光塗料・顔料における圧倒的な国内シェア
- 素材の製造・販売から、特殊な蛍光塗料を使って建物の内外装デザインまで手掛ける

### 安全防災マーキング



- 駅ホーム落下防止安全対策CPラインや、河川水害対策の量水標で使用されている蛍光塗料

### ヘリポートサイン



- 高層ビルの災害時に高い視認性で効果を発揮する緊急離発着場専用の蛍光塗料

### 捺染、インキ用水性蛍光顔料



- 衣服など繊維の染色や印刷用途で使用されている蛍光顔料

### テーマパークコーティング



- 耐候性、耐水性に強い水性アクリル樹脂を使用したデコラティブペイント

# 本日はありがとうございました

## 彩り企業、DNT。

IRに関するお問い合わせ先

大日本塗料株式会社 管理本部 経営企画室

.....  
電話：06-6266-3103  
e-mail：dnt-sou@star.dnt.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。